

平成23年度 地域産業復旧・復興支援事業（Bタイプ）

特定非営利法人おおさき地域創造研究会 海の手山の手ネットワーク（宮城県）



「被災者の仕事づくりと連携した経済復興プロジェクト事業」

【事業目的】

東日本大震災で被災した沿岸部の方々と大崎市に在住する私たちが、これから当たり前の生活に戻るには経済の復興なくしては進めない。海から2次避難していたの方々（海の手）の「力」と、山側大崎市の農業者・食品加工業者・NPO（山の手）がそれぞれネットワークを使い「共に良くなるためのしくみ」をつくり実践し始めた。

事業に伴う販路拡大と仮設住宅に移った被災者の手仕事従事者拡大を目的とする。

【事業実施状況】

地元新聞社の新聞を使った「新聞バック」や「布小物」を被災者が手仕事で制作し、農産加工者の商品を組み合わせ販売。手仕事でつくられた商品には、対価として賃金を支払った。

●販路拡大

- ・SELVA(仙台市)にてキャンペーンにて販売(9月16～25日)
- ・泉マルシェ(仙台市)震災復興支援市にて販売(9月23日)
- ・パナソニック(仙台市)催事にて販売(10月8～9日)
- ・パナソニック(石巻市)催事にて販売(10月15～16日)
- ・パナソニック(多賀城市)催事にて販売(10月22～23日)
- ・東京コルトンプラザにて打合せ・販売
- ・全国発酵サミット2011(大崎市)にて販売(12月3日)
- ・新宿高島屋(東京)にて販売及びバック制作実演会(2月29日～3月5日)

●手仕事従事者拡大と生産管理

新聞バック制作枚数：7,141枚
(平成23年6月～平成24年2月末)

【成果・今後予想される事業効果】

(成果)

これまでの活動で手仕事として取組んでいただいた新聞バック制作者の方々にとって、本来の仕事へ繋ぐための足がかりとなった。また、大崎市で開催された全国発酵サミットへの出展を機に、(株)一ノ蔵よりオーダーがあり、酒ミュージアム・空港店・HPでの販売をすることになった。

(今後の展開)

今後は、沿岸部のメンバーは海の仕事が正常に戻るための間の仕事となる為、新聞バックづくりをするインストラクターを増やし、増産体制の整備を図る。また、農産加工のメンバーの認知向上から販売数の向上に向け活動していく。その一方で、被災者支援を継続させ、組織としての方向性を見出しながら更なる販売ルートの確保に努めていく。